

第61回表装内装作品展(平成29年5月20日～5月27日開催)

東京都知事賞



掛軸「富嶽」
高橋直樹(芝支部)

読売新聞社賞



掛軸「里山」
大貫一夫(中杉支部)

東京都産業労働局長賞



掛軸「(唐)王維の詩より」
櫻井 潔(渋谷支部)

表装内装作品展(平成27年度に改称)は、昭和32(1957)年から会員の表装技能の向上を目的としてはじまりました。昭和53(1978)年第21回展からは東京都美術館にて毎年、開催しています。

千数百年の歴史を持つ表装(表具・壁装)技能は、主に紙と裂と糊を用います。古来より障壁・襖(ふすま)・障子は日本建築には欠かせないものとして発展してきました。また、掛軸や屏風(びょうぶ)も茶の湯の隆盛とともに日本独自の発展を遂げ、調度品としてだけでなく美術品として、私たちの生活に彩りを与えてくれています。そして、住まいの洋風化により主流となりました壁紙張りも、表具の技術から派生したものです。表具の技術は今の暮らしにも欠かせない技術として根づいています。

表装内装作品展では、日頃の研鑽による技術に裏打ちされた作品をご覧いただくとともに、表具の技術を身近に感じていただければ幸いです。



第61回表装内装作品展 会場風景

◆◆会期中は毎日、当協会会員による作品解説会を予定しています。

「第61回表装内装作品展」期間中の展覧会情報 *詳しい内容は案内冊子等をご確認ください。

東京都美術館特別展「クリムト展-ウィーンと日本1900-」 2019年4/23(火)～7/10(水)9:30～17:30(入場は17:00まで)

お問合せ 一般社団法人東京表具経師内装文化協会

事務局:東京都台東区東上野4-10-14 第2東ビル402
TEL03-5826-1773 URL <http://www.tokyo-hyougu.jp>